

正誤表

これからつくるiPhoneアプリ開発入門
～Swiftではじめるプログラミングの第一歩～ [Swift3/Xcode8対応]

本書において下記のとおり、誤りがございました。
内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。
恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。
赤字が修正箇所になります。

ixページ 目次 Lesson 4 3-4

【誤】 4 Table View Cellの [Style] と [Indentifier] を設定

【正】 4 Table View Cellの [Style] と [**I**dentifier] を設定

P.16 ページ下部のTips

【誤】 Apple すべてのサービスで使う

【正】 Apple **の**すべてのサービスで使う

P.37 2-2

【誤】 「制約」 (Constrain)と呼びます。

【正】 「制約」 (Constraint)と呼びます。

P.48 5-3 ③

【誤】 発生していのが

【正】 発生している**る**のが

P.69

【誤】 「制約」 (Constrain) という

【正】 「制約」 (Constraint) という

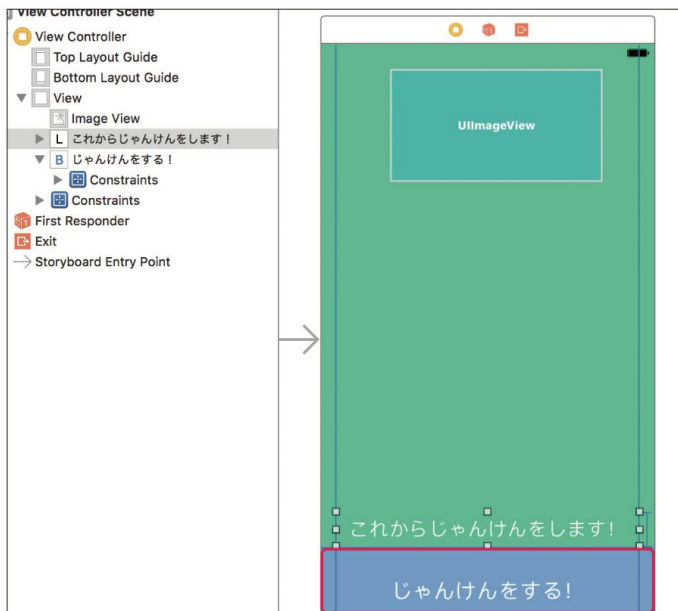
P.71

【誤】 制約(Constrain)

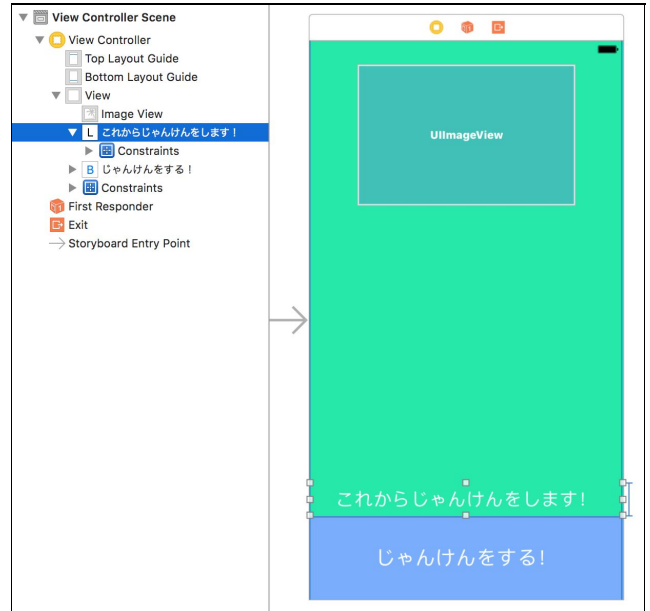
【正】 制約(Constraint)

P.77

事前の説明では、[Constrain to margins] のチェックをしていませんが、LabelのAutoLayout更新後の [Constrain to margins] のチェックされているレイアウトとなっていました。



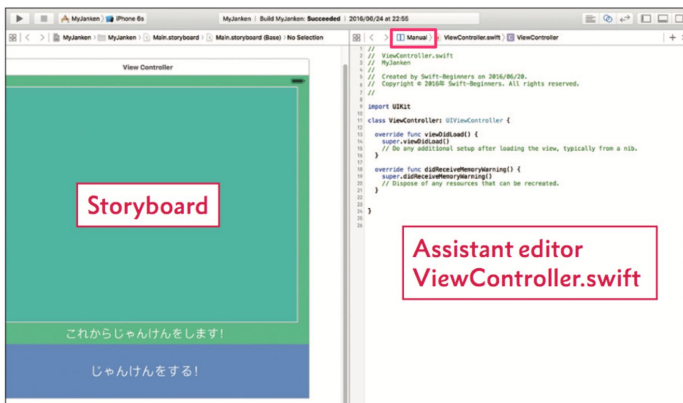
【誤】



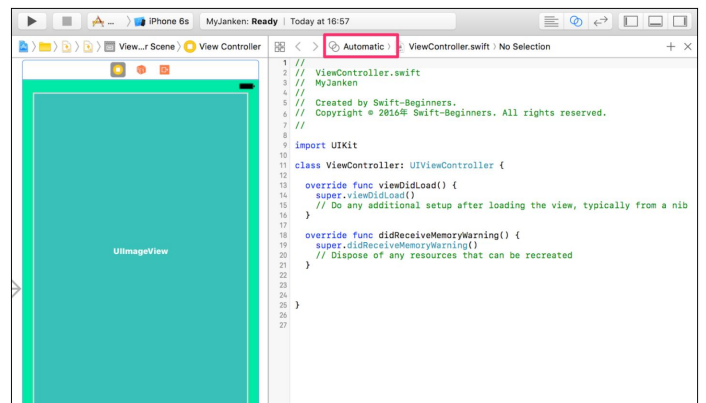
【正】

P.82

Xcode画面の構成箇所にてViewController.swiftがManualにて選択されていました。正しくはAutomaticです。



【誤】



【正】

P.91 1-1 中段の③

【誤】 見えるようします

【正】 見えるようにします

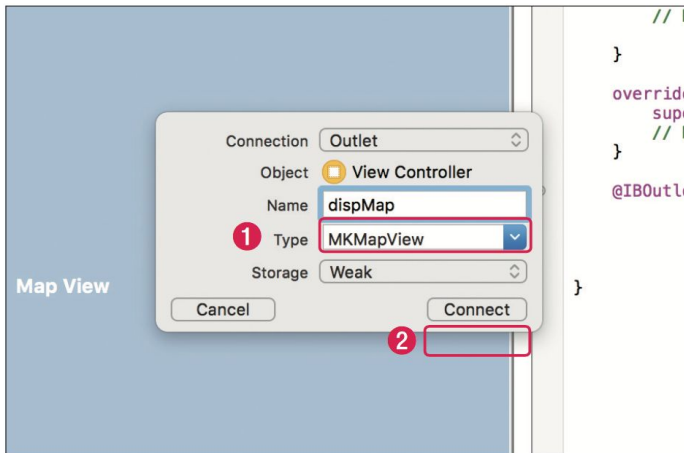
P.100 1-5

【誤】 関数 (Functions)

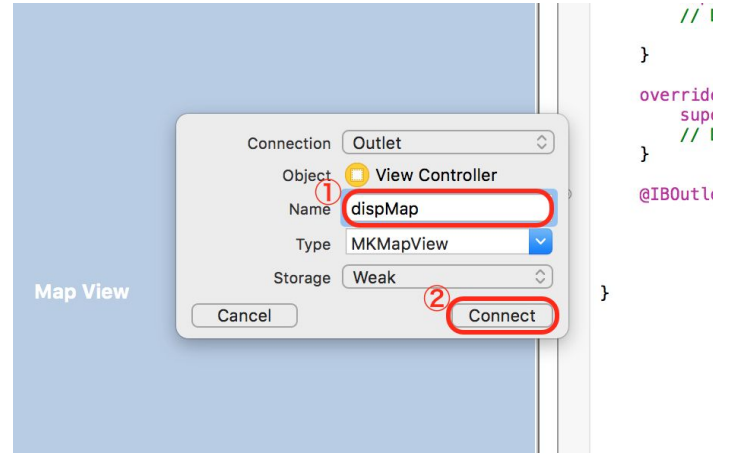
【正】 関数 (Function)

P.163

Map Kit View関連付け操作画面②の枠線①及び②の位置が誤っていました。



【誤】



【正】

P.180 2-2 ②

【誤】 左下部へドラッグ&ドロップします。

【正】 右下部へドラッグ&ドロップします。

P.182 2-3 ②

【誤】 今回は画面の左下部に配置します。

【正】 今回は画面の右下部に配置します。

P.208

タイマー画面の本来は「秒数設定」となっている箇所が「Item」となっていました。



【誤】



【正】

P.232 5-2

【誤】 count += 1;

【正】 count += 1

P.275

【誤】

5 : UIPickerViewのDataSourceのdelegateメソッドを作成しよう

【正】

5 : UIPickerViewのDataSourceのメソッドを作成しよう

P.275

【誤】

UIImagePickerController.isSourceTypeAvailable()でカメラが利用できるのかを判定できます。

【正】

UIImagePickerController.isSourceTypeAvailable(.camera)でカメラが利用できるのかを判定できます。

P.312(追加)

【誤】 1-5 画面遷移を実施

【正】 1-5 画面遷移を**実装**

P.321

画像をシェアするソースコードの一部が印刷されていませんでした。

```
43 // SNSに投稿するボタンをタップすると実行
44 @IBAction func SNSButtonAction(_ sender: AnyObject) {
45 // 表示画像をアンラップしてシェア画像として取り出し
46 if let shareImage = pictureImage.image {
47 // UIActivityViewControllerに渡す配列を作成
48 let shareItems = [shareImage]
49
50 // UIActivityViewControllerにシェア画像を渡す
51 let controller = UIActivityViewController(activityItems: shareItems, applicationActivities: nil)
52
53 // iPadで落ちてしまう対策
54 controller.popoverPresentationController?.sourceView = view
55
56 // UIActivityViewControllerを表示
57 present(controller, animated: true, completion: nil)
58 }
59 }
```

追加

P.351

【誤】

```
let URL = Foundation.URL(string:
```

```
"http://www.sysbird.jp/toriko/api/?apikey=guest&format=json&keyword=\(keyword_encode!)&max=10&order=r")
```

```
print(URL)
```

【正】

```
let url = URL(string:
```

```
"http://www.sysbird.jp/toriko/api/?apikey=guest&format=json&keyword=\(keyword_encode!)&max=10&order=r")
```

```
print(url)
```

P.356(追加)

【誤】

```
let req = URLRequest(url: URL!)
```

【正】

```
let req = URLRequest(url: url!)
```

P.356 1-2

【誤】

```
print ("okashiList[0] = \{self.okashiList[0]\}")
```

【正】

```
print ("okashiList[0] = \{self.okashiList.first\}")
```

改訂表

これからつくるiPhoneアプリ開発入門
～Swiftではじめるプログラミングの第一歩～ [Swift3/Xcode8対応]

書籍出版時は、Xcode8.0での動作確認を行っていますが、Xcodeのバージョンアップに伴い、サンプルコードに修正が必要になった場合にこの改訂表を更新してまいります。

ご利用のXcodeのバージョンをご確認の上、コードを書き換えてお試しください。

■変更内容

Xcode8.1から、オプション変数をそのままprint文で利用すると警告が表示されるようになりました。

■修正内容

P.167

【Xcode8.0】 `print(searchKeyword)`

【Xcode8.1】 `print(searchKeyword ?? "値が入っていません")`

P349

【Xcode8.0】 `print(searchBar.text)`

【Xcode8.1】 `print(searchBar.text ?? "値が入っていません")`

P353

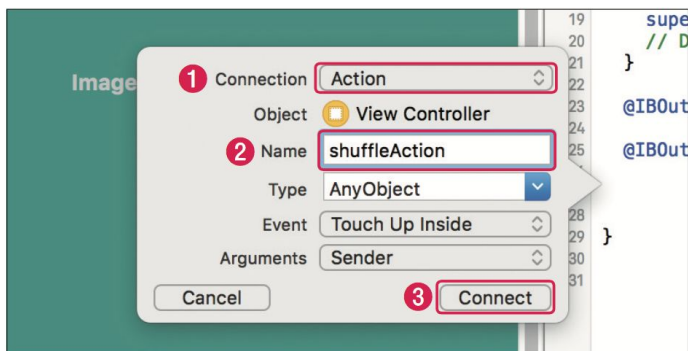
【Xcode8.0】 `print(URL)`

【Xcode8.1】 `print(URL ?? "値が入っていません")`

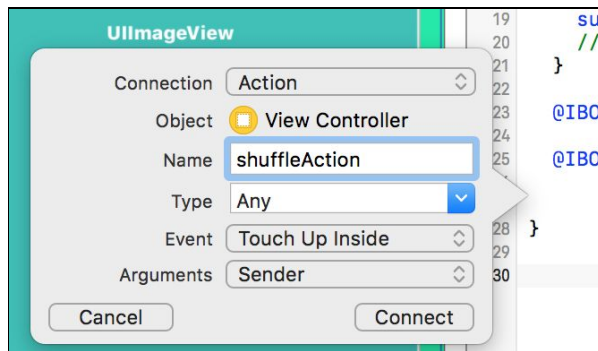
「??」は、値がnil（値がない）の場合に置き換える値を指定する方法です。
値が、nilの場合に「値が入っていません」とコンソールに出力するコードになります。

■変更内容(追加)

Xcode8.1から、Buttonの関連付け際にIBActionの引数Typeが「AnyObject」から「Any」に変更となりました。



【Xcode8.0】



【Xcode8.1】

・ AnyObjectとAnyの違い

AnyObjectは、全てのクラス型のインスタンスを扱うことが出来る型ですが、構造体 (struct), 列挙型 (enum), 関数 (クロージャ) や、タプルはクラス型のインスタンスではないので、AnyObjectで扱うことはできません。

Anyは関数型も含め、全ての型のインスタンスを扱うことが出来る型で、構造体 (struct), 列挙型 (enum), 関数 (クロージャ) も扱うことができます。

■変更内容

Xcode8.1から、AutoLayoutのボタン名称が変更になりました。
P.70の説明は以下のように変更となります。



AutoLayoutの4つのボタン

AutoLayoutの4つのボタンの役割

番号	ボタン名	できること
①	Stack(スタック)	パーツにまとめて制約を設定するときを使う
②	Align(アライン)	パーツを中央に配置したり、左揃えで配置などの制約を設定
③	Add New Constraints	パーツの高さや横幅、余白などの制約を設定
④	Resolve Auto Layout Issues	不足している制約を自動的に設定したり、パーツを制約通りに表示する機能などがある

その他、書籍を通して、[Pin]と表記されている箇所は[Add New Constraints]に変更になります。

■変更内容

実機転送を行うときにP.48 「5-3 Team(チーム)を設定します」の④手順を行うときに以下のエラーが発生した場合、P.49 「5-4 iPhoneをXcodeから起動します」のデバイスの選択すると解決します。

**Failed to create provisioning profile.
There are no devices registered in your account on the developer website.
Plug in and select a device to have Xcode register it.**

以上